

In the spring of life



25才の私への手紙

大学に入学したばかりの自分から、25才の自分に向けて手紙を書きましょう。
手紙を書く前に、25才の自分がかなえていたいことを想像してみましょう。



手紙の中に必ず書くポイント

- ①25才の自分は、どこでどんな仕事をして、どのような生活を過ごしているか。
- ②その夢の実現のために、大学時代はどんなことをしているか。
- ③大学時代から続けて取り組んでいることは何か。
- ④最後に、25才の自分への励ましのメッセージを書く。

拝啓 25才の

さんへ

敬具

大学1年生の

より

これから4年間、あなたの学生生活のステージとなる関西学院大学。関学院生なら必ず知っておきたい基礎知識についてご紹介します。120年を超えて紡がれてきた関学の歩みを知り、ここから先、関学の歴史をともにつくっていきましょう。



創立者 W.R.ランバス
Lambuth, Walter Russell Thomson

< 関学の歩み >

関西学院は、伝道者の育成とキリスト教主義に基づく青少年教育をめざし、アメリカ南メソジスト監督教会宣教師W.R.ランバスによって創立されました。

神戸市郊外の原田村に建築された木造2階建ての校舎に設置されたのは神学部と普通学部。ランバスと5人の教授、19人の学生・生徒によるスタートでした。

当時、授業はすべて英語で行われ、アメリカのカレッジと同等の教育レベルを誇りました。

1891年、関西学院の記念すべき第1回卒業生は、神学部から巣立った3人でした。

2010年開設の国際学部を含め11の学部を擁する大学へと成長し、22万人を超える卒業生を社会へ送り出しています。

< 校名の由来 >

1889年創立当時、英和学校と名付けられるミッションスクールが多いなか、慣習を打ち破って学院とし、西日本の指導者となる意味を込めて「関西」を冠しました。「関西」を「かんせい」(当時はクワンセイ)と読むのは、当時の進取革新的な気風から、漢音読みを採用したものです。現在も英文表記はKWANSEI GAKUINと漢音読みをベースとしています。

< 新月の校章 >

新月が満月へ刻々と変化するように、関西学院で学ぶ者すべてが日々進歩と成長の過程にあることを意味しています。また月が太陽の光を受けて暗い夜を照らすように、私たちが神の恵みを受けて世の中を明るくし、世の中を明るくしたいの思いを表しています。



< 校歌「空の翼」 >

本校の校歌「空の翼」は、日本を代表する作曲家で同窓の山田耕筰と、詩人北原白秋によって1933年に作られました。現在も、多くの学生・卒業生に歌い継がれています。



ミッションステートメント

関西学院は、キリスト教主義に基づく「学びと探求の共同体」として、ここに集うすべての者が生涯をかけて取り組む人生の目標を見出せるよう導き、思いやりと高潔さをもって社会を変革することにより、スクールモットー「Mastery for Service」を体現する、創造的かつ有能な世界市民を育むことを使命とします。

スクールモットー「Mastery for Service」

1912年、高等学部長であったカナダ人宣教師のC.J.L.ベーツ第4代院長が提唱し、現在のスクールモットーとなっている「Mastery for Service」。「奉仕のための練達」と訳され、「世の中で役立つために、そして将来背負う責任を果たせるようになるために、自らの能力を精一杯高めよう」という意味です。

めざす人間像

「Mastery for Service」を体現する世界市民—世界を視野におさめ、他人への思いやりと社会変革への気概を持ち、高い識見と倫理観を備えて自己を確立し、自らの大きな志をもって行動力を発揮する人



充実した大学生活を過ごすために、4年間の行事や活動の大まかな流れを知っておきましょう。卒業する時に「やり残したことは何もない」と振り返ることができるよう、大学生活を思い多きものにしていましょう。

学業面では、1・2年生で基礎科目をしっかり履修し、文系学部では3年生、理工学部は4年生からゼミに所属し、4年生での卒業論文(卒業研究)に向けて専門科目を履修し、知識を深めていきます。(ゼミ・卒業論文のない学部・学科(専攻)もあります。)

学業とのバランスを上手に取って、さまざまな課外活動に取り組み、学部や大学の枠を超えた仲間作りも積極的に進めていきましょう。留学や資格取得などを考えている人は、手続きの時期や必要な準備について早めに情報収集しておきましょう。

3年生になると、進路選択について考える時期になります。採用試験応募の際に提出する「履歴書」や「エントリーシート」には、「大学生活で打ち込んだこと」を通して自己紹介する欄があります。ここでの話題のもとになる経験は、大学生活でさまざまなチャレンジを続けることで、いくつでも身につけることができます。学内外でのチャンスを自ら積極的に掘り起こし、あなたの可能性を広げ、充実した4年間にしていましょう。

■4年間のスケジュール(一例)

★…学事日程・大学行事 ▲自ら参加する行事 ●進路選択に関する行事

	1 年	2 年	3 年	4 年
春学期	★入学式・新入生オリエンテーション ★定期健康診断 ▲クラブ・サークル等、課外活動の決定 ★春学期定期試験	★定期健康診断 ●キャリアガイダンス ★春学期定期試験	★定期健康診断 ●キャリアガイダンス ●自己分析スタート ★春学期定期試験	★定期健康診断 ●採用試験(筆記・面接) ●公務員試験・教員採用試験 ★春学期定期試験
夏季休暇	▲クラブ・サークル合宿 ●インターンシップ	▲クラブ・サークル合宿 ●インターンシップ	▲クラブ・サークル合宿 ●インターンシップ	
留学・ボランティア活動・海外渡航など、普段できない事に挑戦するチャンス!				
秋学期	★大学祭	★大学祭 ★ゼミ選択・面接	★大学祭 ●キャリアガイダンス ●各種就職関係セミナーへの参加 ●業界・企業・職種の研究 ●会社説明会参加 ●企業へのエントリー開始 ●先輩訪問	★大学祭 ★卒業論文の仕上げ
冬季休暇				
冬季休暇明け	★秋学期定期試験	★秋学期定期試験	★秋学期定期試験	★秋学期定期試験 ★卒業式

高校の常識、大学の常識？

あなたのこれからの生活のステージとなる大学とは、どんなところでしょうか？高校とは何が違うのでしょうか？これまで過ごしてきた高校までの「常識」、大学ではいったいどのようなものかを想像して自由に書いてみましょう。

<高校までは>

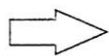
同じ学年なら、ほとんどの人が同じ科目をとり、同じ進度で学習する。



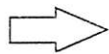
<大学では>

それぞれの人は、自分のテーマに合わせて学ぶ科目を選び、進度もバラバラである。

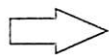
時間割は先生が決めてくれる。座席も固定だ。



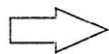
クラスの顔ぶれは一年間、毎日変わらない。



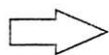
授業を聞き、与えられたことを覚えていくのが学習である。



誰もが、あなたのテストの点数、偏差値、順位などに関心を持っている。



教師からは、常に何をすべきかの指示があり、それが受験対策となる。



高校では、クラスメイトと部活の仲間、それ以外にあまり知り合う機会はない。



皆についていけば道を間違えず、可能性も広がる。



Point Of View

高校と大学の違い、あなたはどれくらい発見できましたか？いまワークシートに書き込んだあなた自身の答え、それはすべて正解です。大学生活には選択肢が無数にあります。だから、答えはひとつだけではないのです。これから始まる大学生活では、その答えが現実となって体験できるチャンスが待ち受けています。

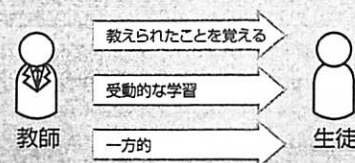
高校までの教育の特徴は、受動的であることです。新学期にはクラス割りが発表され、指定された教室に入ると、先生から一年間の授業の時間割が与えられます。授業を聞き、教えられたことを覚えることが学習の目標でした。皆同じカリキュラムで同じ目標に向かって学習していました。先生の指示に従っていれば皆同じように進むことができました。

一方、大学教育の特徴は能動性です。大学で学ぶ自分なりのテーマを設定し、一年間の時間割を自分で決定します。大学の講義では座席も自由、講義ごとに周囲の顔ぶれも変わります。講義のスタイルも様々です。大学では決定権が自分にありますが、進級・卒業に必要な単位数の管理などの責任も自分にあります。クラブ・サークル活動やアルバイト、課外活動などへの参加も自らの意思に基づいて決めなければなりません。

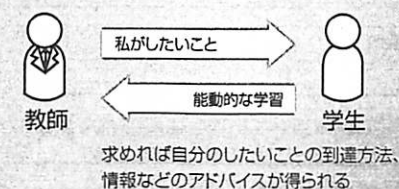
あなたが自身が目標を立て、その目標への到達方法を決め、行動に移し、一步一步進んでいく。大学では、高校までのように、誰もあなたの進み方を指示してくれません。その舵取りはあなた自身にしかならないのです。言い換えれば、あなたは自分のことを自分で決めることができます。大学では、あなたの自主性や独立心が尊重されます。さあ、あなたは何をしたいですか？あなたの前には無限の可能性が拓けています。

Diagram

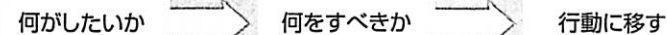
<高校までの教育>



<大学の教育>



<能動的学習方法>



「何がしたいか」そのためには「何をすべきか」を自分で見つけ、行動に移す
目標→目標への到達方法を考え選択・決定→自分なりの行動計画を立てる



4 現在の「自分」を知る

STAGE.1

STAGE.2

STAGE.3

自己紹介をしてみよう

あなたのことを知らない人に、これから自己紹介をします。相手にあなたのことをよりよく知ってもらうために、できるだけ具体的に説明しましょう。

例) 私の趣味は「スポーツ観戦」です

説明: 高校の時にテレビで見て感動し、次のオリンピックでは現地に行って応援することを目標に、資金作りのアルバイトを始めました。大学ではクラブに入り、競技そのものにも挑戦したいです。

ニックネームは「 」です

説明:

長所は「 」です

説明:

短所は「 」です

説明:

高校時代、熱中したのは「 」です

説明:

私がいちばん大切にしているのは「 」です

説明:

いちばん好きな時間は「 」です

説明:

いちばんうれしい思い出は「 」です

説明:

Point Of View.1

初めて会う人に自分のことを紹介する。とても難しいと思いませんか?特に「いちばん大切にしていること」(価値観)や長所・短所(自分の内面)などを、具体的に表現するのは、もっと難しいと思います。

このワークでは自分を語る際に具体的な説明をまじえて話すことを考えてみました。どうしてそんなことをしたのでしょうか?それは、自分のことを語る際には、できるだけ具体的に話すほうが相手によく伝わるからです。ま

た、自分が大事にしていることや、忘れられない思い出などをおさらいしてみることで、記憶の遠くにあったもの、無意識に大切にしていたものに気づいたり、新しい発見があったりします。これがこのワークのねらいです。

たとえば、あなたが「いちばん大切にしていること」が「勇気を持つこと」だとします。それを物で表現するには、あなたが感銘して勇気づけられた愛読書を使って紹介することができます。イメージをふくらませて考えてみましょう!

Point Of View.2

ところで、あなたはこれまでに自己紹介をする機会がどのくらいあったでしょうか?高校まではあまり必要がなかったかもしれませんが、これから先、あなたは何度も自己紹介をしなければならなくなるでしょう。なぜなら、大学や社会では、お互いのことを知らない人とかわる機会が多く、初めて会った人との間に、人間関係を作っていく必要がないからです。自分のことを知らない相手に自分について理解してもらう。自己紹介をするためには、まずはあなた自身があなたのことをわかってあげていなければなりません。しかし、いったいどうやって「あなたという人間」を知っていけばいいのでしょうか。

あなた自身、すなわち「自己」は「風」に似ています。あなたは、「風」を見ることも、触ることもできませんが、「風」を感じ、確かに「そこにある」ことを知っています。「風」が

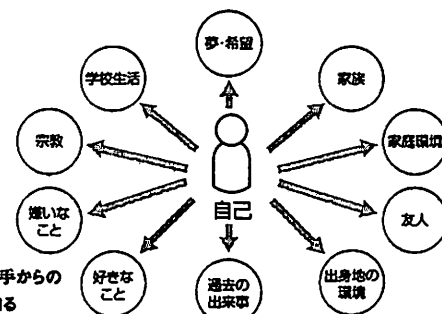
何かに動きかけた結果を通して、私たちは「風」を知ります。木々を揺らしたり、髪をなびかせたり、砂を巻き上げたり、波を起こしたりすることによって、風の姿を感じるのです。

「自己」も、そのままでは実体が見えないものですが、あなたがほかの人に働きかけたり、行動をしたり、目標をかけたり、喜んだり悲しんだりすることによって姿を現すのです。実はこのワークの項目は、「自己」がどのようなところに現れるかを示したものです。あなたがワークの各項目で記入した答えとそれを表すアイテムは、今のあなた自身を作ってくれているものです。

「自己」とは、あなた自身が働きかけたり、行動を起こしたりした結果つくられていく、人間関係と経験の集合体なのです。

Diagram

自己は形がない
過去の人間関係と経験に
「自己」が現れている



働きかけた結果や、相手からの
反応を通して自己を知る

目に見える私、見えない私、本当の私？

自分のことは自分がいちばんよく知っていると思っている人も多いでしょう。本当に、自分が知っている自分がすべてでしょうか？他にもあるいい面に気づいていないということはありませんか？友人や家族など、あなたをよく知っている人にインタビューをして、自分が知っている自分と、ほかの人から見た自分を比較してみましょう。



友人や家族にあなたの特徴をインタビューしよう！

回答者 Question	友人・周囲の人		家族
	さん (関係:)	さん (関係:)	さん (関係:)
第一印象			
性格			
行動面のよいところ			
勉強面 (得意な分野や、 勉強の様子)			
スポーツや クラブ活動の様子			
趣味や熱中 していること			
将来の目標			
意外な一面			
もしかして、 ここが弱点？			

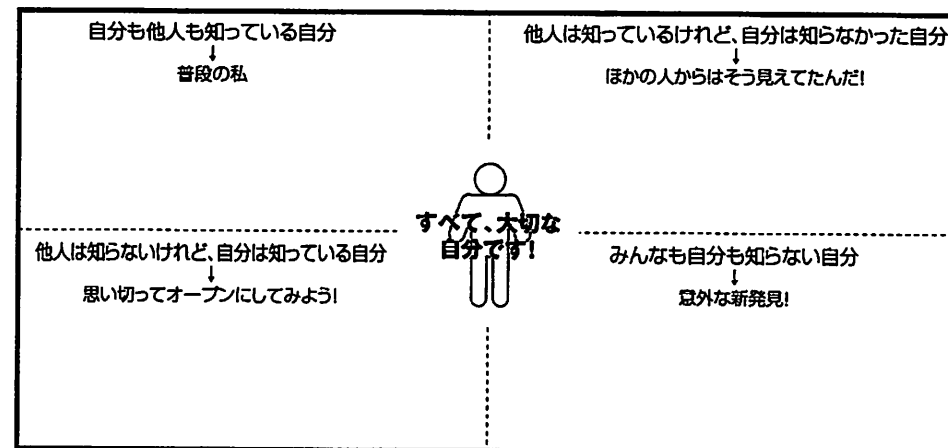
自分の特徴を書いてみよう！

(下のkeyword集も参考に、もちろんそれ以外の言葉もあげてみましょう)

Keyword

向上心 素直 前向き 粘り強い 相手の立場に立つ 元気 状況判断力 和やか
正義感 おだやか ユーモア 自主性 努力 信念 積極的 温かい 几帳面
落ち着き さわやか リーダーシップ くよくよしない 明るい 頼りがいがある 協調性 アイデア 粘り強い
優しい こだわり 責任感 ルールを守る 集中力 礼儀正しい おしゃれ かっこいい 人の話を聞く
体力がある すばやい 手先が器用 あきらめない 創造的 親切 好奇心旺盛 チャレンジ 柔軟性
親しみやすい 慎重 理解力 冷静 決断力 獨創性 まとめ役 ユニーク

「自分の特徴」をひとつの表にまとめてみよう！



いかがでしたか？自分の普段の姿を再確認するとともに、今まで自分が気づいていなかった「新しい自分」を発見できたのではないのでしょうか。

自分に関する情報をもっと集めて、「新しい自分」をこれからも発見していくためには、素直にあなたのことについて語ってくれる良好な人間関係を大学で多く作っていくことが大切です。そしてあなたの友人にも、あなたが感じたことをたくさん話してあげましょう。他人のよい面に触れていくことで、これまで知らなかった未知の「自分」に出会えるかもしれませんね！

私を知るもうひとつの方法

あなたは、家族の大切な一員であるほか、様々な集団・グループに属しています。家族・集団・グループを構成しているメンバーには、共通した性格・性質があります。次の表にはあなたが属している（これから属する）と思われる集団・グループを挙げています。例を参考に、そのグループ名などを書き、また、そのグループに共通する性質を書いてみましょう。

私が属している(いた) 集団・グループなど		共通する性質
例) 家族	〇〇家の次男	家族は全員、明るくて大らか ちょっとちびまる子の家っぽい雰囲気? 意外に厳格なところもある
例) 高校のクラブ	サッカー部	いい意味でライバル、高めあうことができる チームワークを大切にする
家族		
幼なじみ		
小学校		
中学校		
高校		
高校のクラブ		
関学の仲間		
関学生全体		
大学のクラブ・サークル		
アルバイト		
ゼミ		
地域活動		
趣味・習いごと		
(自由に記入)		
(自由に記入)		
(自由に記入)		

Point Of View.1

あなたは、地球というひとつの星に住む地球市民です。地球の中ではアジアという地域に暮らし、アジアの中で、日本という国に住み、その中の兵庫県で学ぶ大学生としての生活を送っています。そして大学の中でもクラブ、サークル、ゼミなど様々なグループに身をおきながら日々を過ごすでしょう。

この世に生まれたときから、あなたは「〇〇家の一員」という、最小の単位のグループに属するメンバーです。そ

して成長するにつれて、いろんなグループに属し、それぞれのメンバーの特徴や性質に触れながら日々を過ごしてきました。そうやって、いまのあなたが作られてきたのです。

ワークで書いた項目以外にも、あなたはいくつもの共通の性質、すなわち「社会的アイデンティティ」を持っているはずです。すべて、あなたを作ってくれた重要な要素です。ひとつひとつたどっていけば、「自分」をもっとよく知るために役に立つでしょう。

Point Of View.2

「私」とはどんなものなのか? 12ページのワークでは、「私の長所・短所」を考えてみることで、自分の姿をとらえやすくなることがわかったと思います。今回のワークでは、あなたが属している集団やグループの特徴から、自分を発見する方法を考えてみることにしましょう。

あなたには、家族や親族がいるはずです。顔や声、姿かたちだけでなく、家族はよく似ています。おだやかだ、礼儀正しい、明るい、慎重だ、など性格的な面だけでなく、動物が好き、旅行好き、好きな食べ物など、共通点を数え上げればきりがありません。あなたにとって、家族とはあなたを映す「鏡」のようなものです。家族のことをよく見ていると、自分についての認識もすいぶん深まるでしょう。

血縁の次に大きいのは地縁です。あなたが育ってきた地域には、一緒に日々を過ごしてきたあなたの友達がいま

す。また、地域特有の性質も身につけています。あなたが育ったのは都会ですか、元気な下町ですか、それとものどかな自然の中ですか? 話す言葉も地域によって変わります。また、同じ地域に住んでいても、属する集団・グループによって言葉遣いが違うという経験をしたことはありませんか? 言葉は、集団・グループの価値観をあらわしています。あなたは、知らず知らずのうちに、それぞれのグループにあわせた言葉を使い、集団・グループに同調することでも、自分自身を作り上げてきたはずです。

あなたはこれまでも、そしてこれからはもっと多くの集団・グループに属し、それを渡り歩きながら生きていくでしょう。グループ・集団のメンバーの特質を知ることは、あなた自身を知ることにもつながるのです。

Diagram

カテゴリーから集団・グループを考える

教育

幼稚園(保育所)
小・中・高
短大・大学
専門学校
塾
英会話学校
習い事
スポーツ教室

国・地域

都道府県、市町村
民族
地域
ボーイスカウト
子ども会
地域スポーツ振興会
自治会

団体

政党
宗教団体
ボランティア組織

学内活動

クラブ
サークル
生徒会
自治会

趣味・学外活動

キャンプリダー
ファンクラブ
NGO・NPO
ネット仲間
メル友
バンド仲間

STEP.1 大学生活でやってみたいこと・興味を持っていること

This image shows a completely blank white page enclosed within a thin black rectangular frame. There are no markings, text, or illustrations on the page surface.

STEP.2 大学生活の「チャレンジの種」をもとにアクションプランを設定しよう

[illegible]